拾遺
夢さめ
園
貞
作
恵雲

根源實紫（えげんみもゝさき）

二

上の巻三

根源實紫

上巻

笠亭仙果作

梅蝶樓國貞画

泉喜太板

明治文庫

実然の実ごろ摘び紫式部に藤原為時女兄ゆも脇て文学ゆ頭敏諸藝ゆ達ー情ふく雅実温行の賢婦ゆ右衛門権佐宣孝ゆ嫁ー大貳三位越後弁の二女と産宣孝早物故ゲければ京極の家ゆ寡居ー堪ーいろのゑとこ後上東門院の中宮ゆ出ぬるゆ宮仕ー白氏文集の楽府ゆ教ゆらせ右衛つとついくさゆものゆ日本紀局と綽名つけられ又御堂殿の懸想ーくまへるゆとゆ多く脱ゆて夏名ゆ並家ず当時婦女の風俗淫猥ーかりし中ゆ貞操正ーく後家立マ和ー無ゆ一生ゆ送ゆまゆ事と美吾庫新ゆ系ゆ岩越ゆ帰けーゆゆ夫の弟ゆ嫁ゆ給ゆ歌ーとの虚謂ゆ石山ゆ源氏ゆ作初妄語の罪ゆ地獄ゆ堕ーと説ゆ記ゆ事ゆ並び弘徽殿の御寵

そのゆ遺漏ゆ出ーゆ西編ゆ足ゆべ尚世幾編も長く續くゆ主ゆ成れば此人源氏ゆ作げる時種ゆ思ゆ実説先第一ゆ渡殿ゆ事ゆ並び弘徽殿の御寵

遇失ゆ生ゆ前後ゆ桐壺ゆ更衣ゆ准拠ゆ必見ゆ童蒙ゆ知ゆ事ゆ

華山法皇ゆ御一代記ゆ三帙ゆ及ぶゆ栄花ゆ浦ゆ別ゆ須磨明石ゆ面影ゆ式部ゆ宣孝ゆ透ゆ後又二帙ゆ伊周公ゆ流罪ゆ事ゆ虚誕ゆ演義ゆ作べ叔此編ゆ面白ゆ並び世ゆ本色ゆ損ゆたれど始終仏事ゆ尽ゆ事ゆ針ゆ戯作ゆ物ゆ出ーゆ戯作ゆ花ゆ用れば実ゆ成ゆ事ゆ盗ゆ出ーゆ戯作ゆ花ゆ用れば実ゆ成ゆ事ゆ

○大鮮蛍ゆ日本紀ゆ載れど阿闍梨ゆ行ゆ以下皆根ゆ話ゆ

○道兼主ゆ扇ゆ砂石ゆ出ゆ保浦ゆ幻術又愛久ゆ愛童奇童九ゆ多ゆ人ゆ多ゆ空言ゆ実ゆ女御ゆ別ゆ並ーゆ

ゆ心ゆ家ゆ祈ゆ花ゆ新羅ゆ

癸丑春

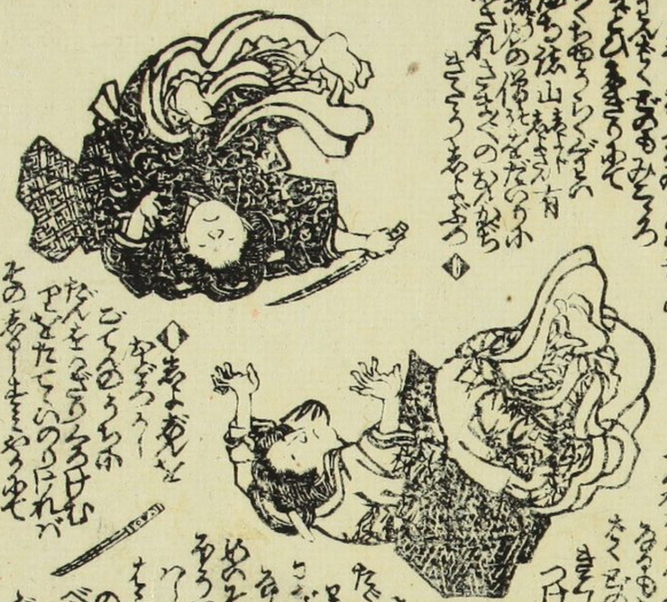
笠亭仙果識

実紫三
侍女少将
大斎院選子内親王
豊国画
中将の局
式部丞惟規

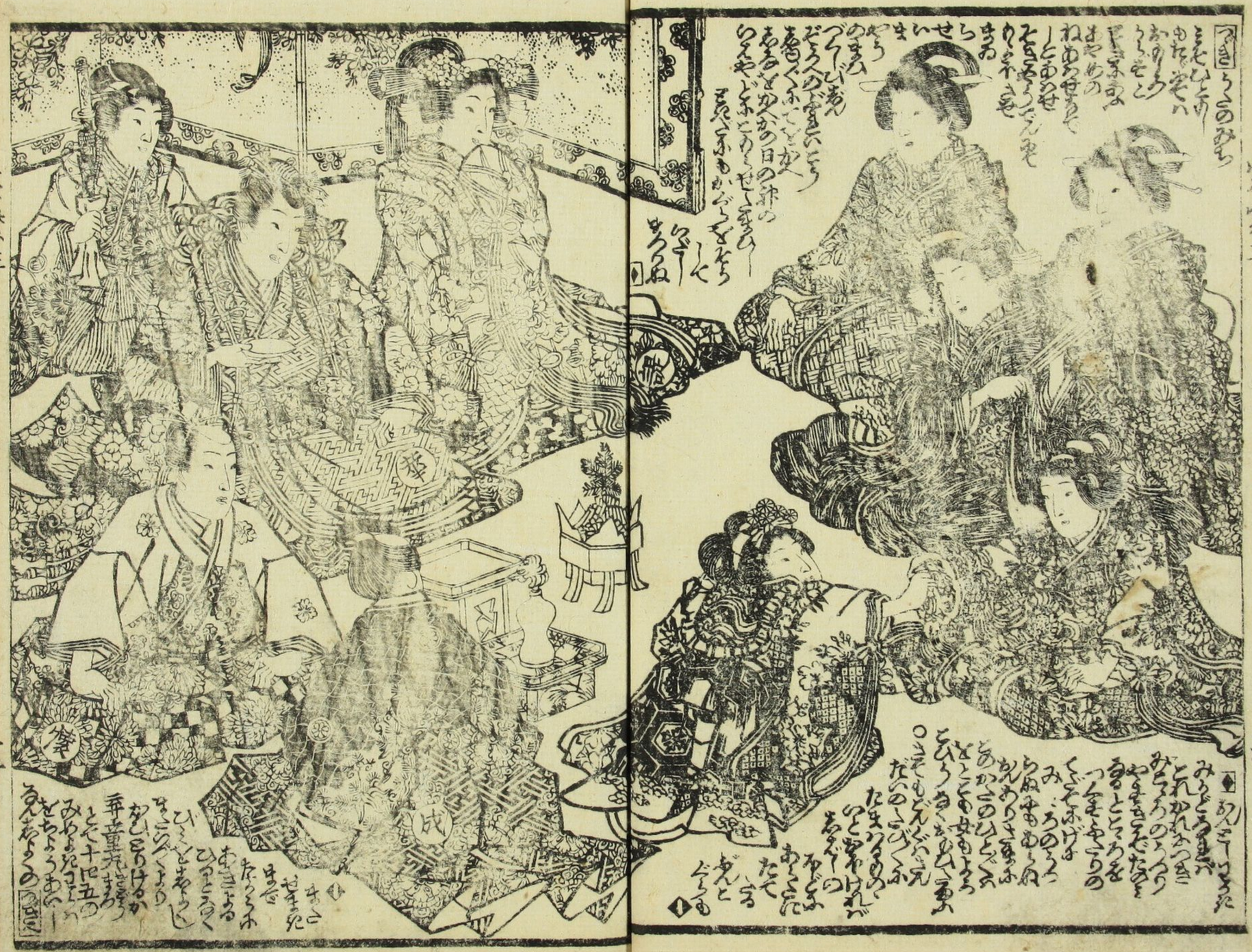
二人のつぎよりよめ

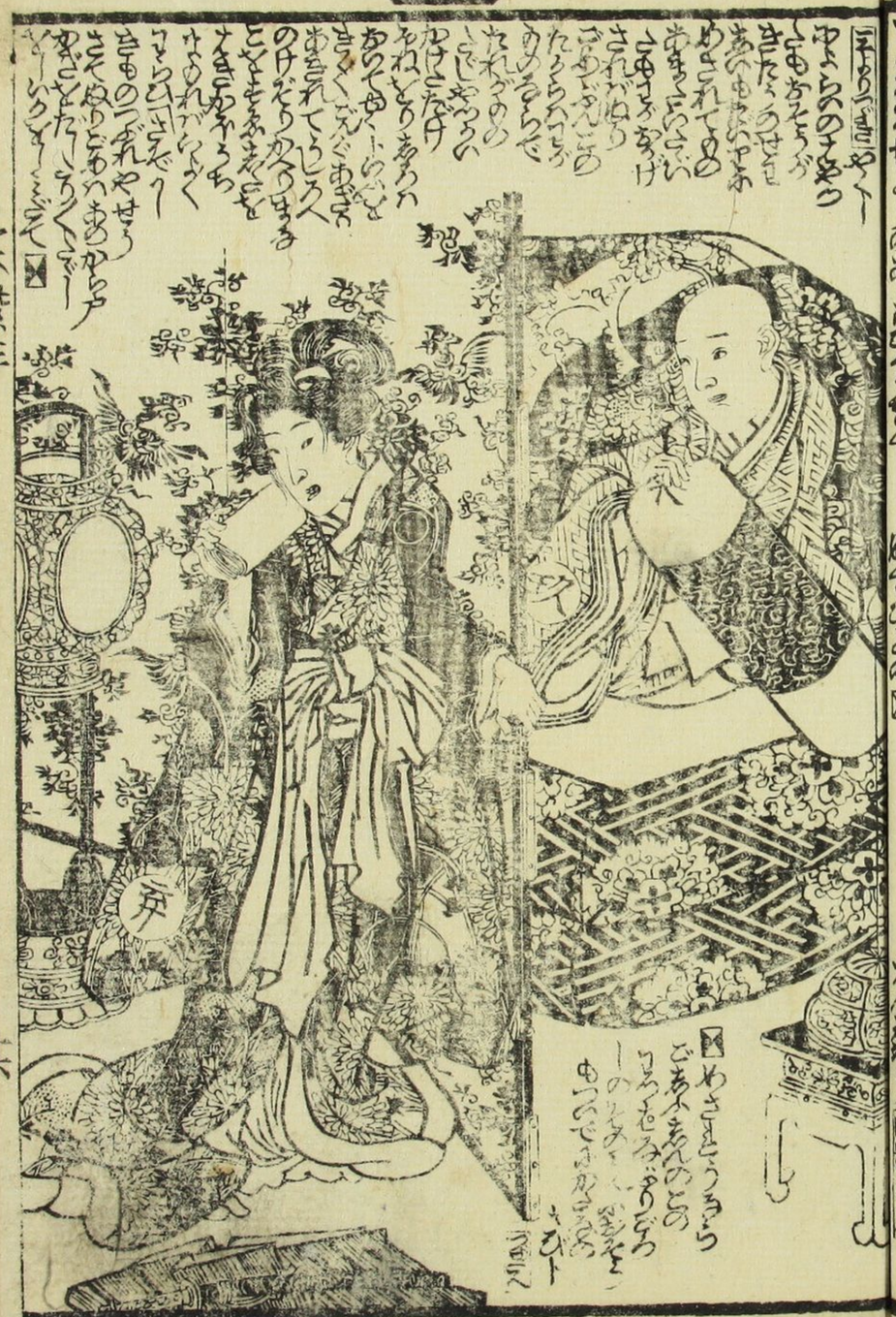
つぎこ

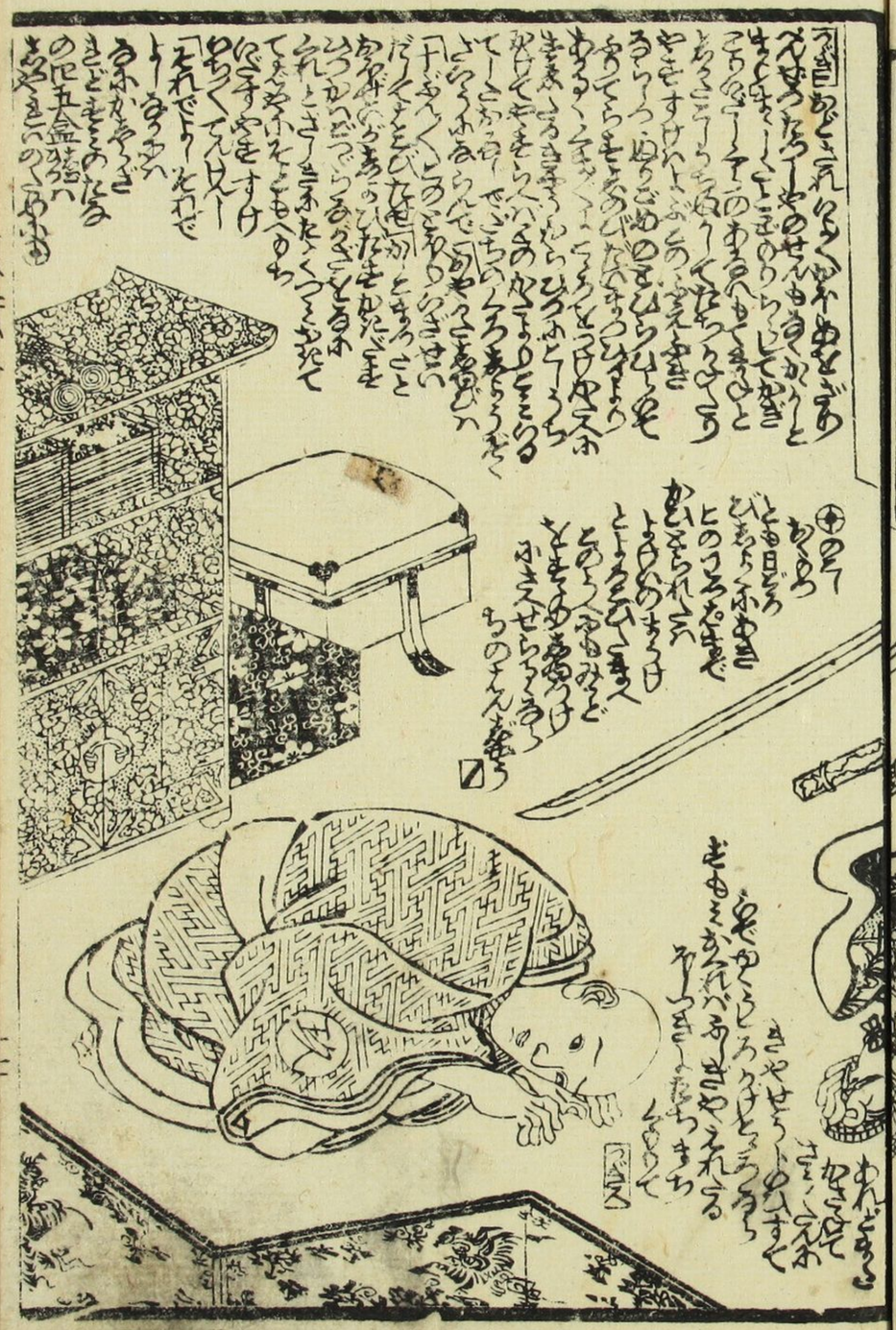
資子内親王　後二位暁子
侍従相中　慶滋保胤
四品聖明親王



妻子及珍宝王位臨命終時不随者
唯戒乃施不敗遠今世後世為伴侶







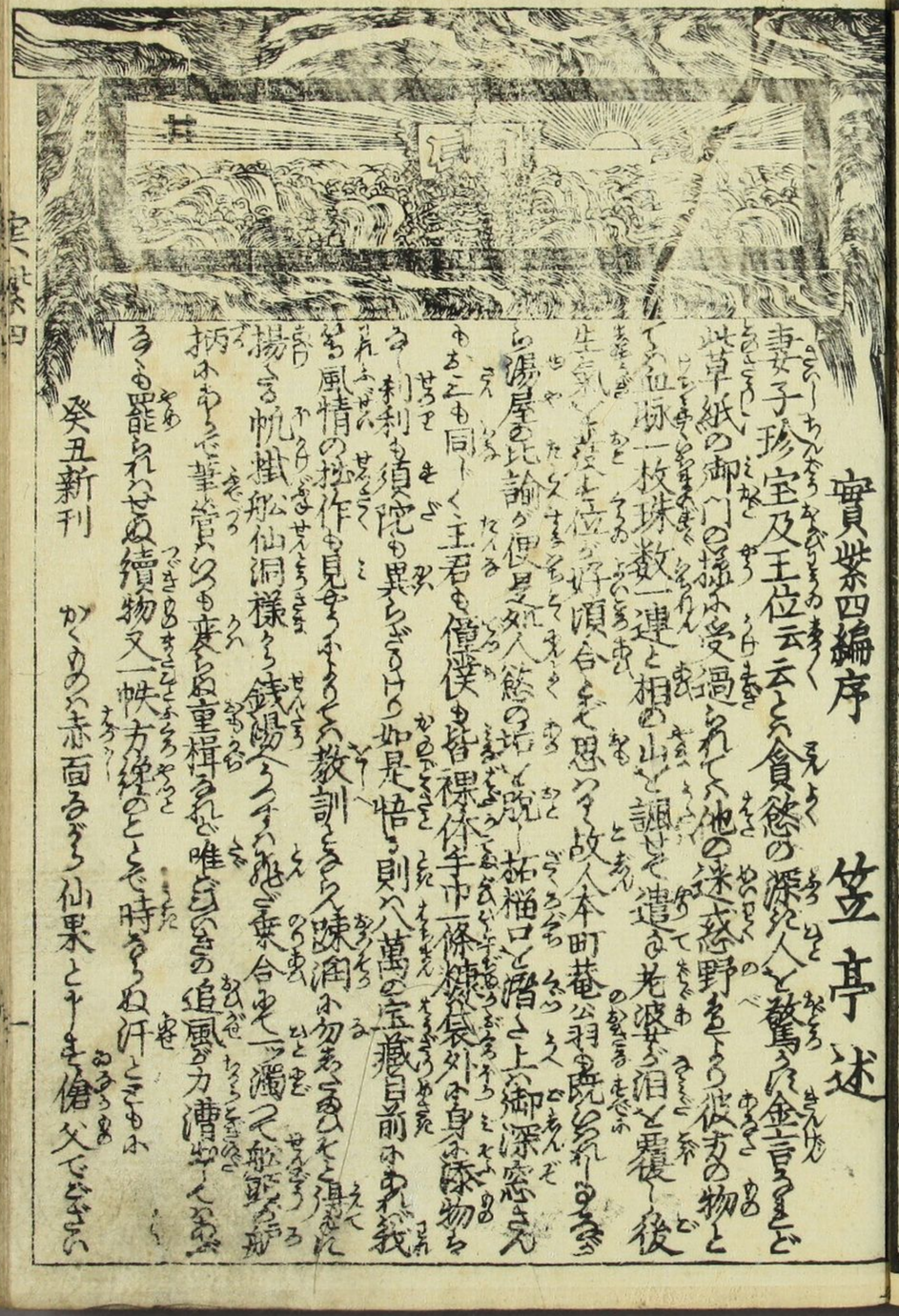
仙果作

清書 谷金川

國貞画

實紫四編序

笠亭 述

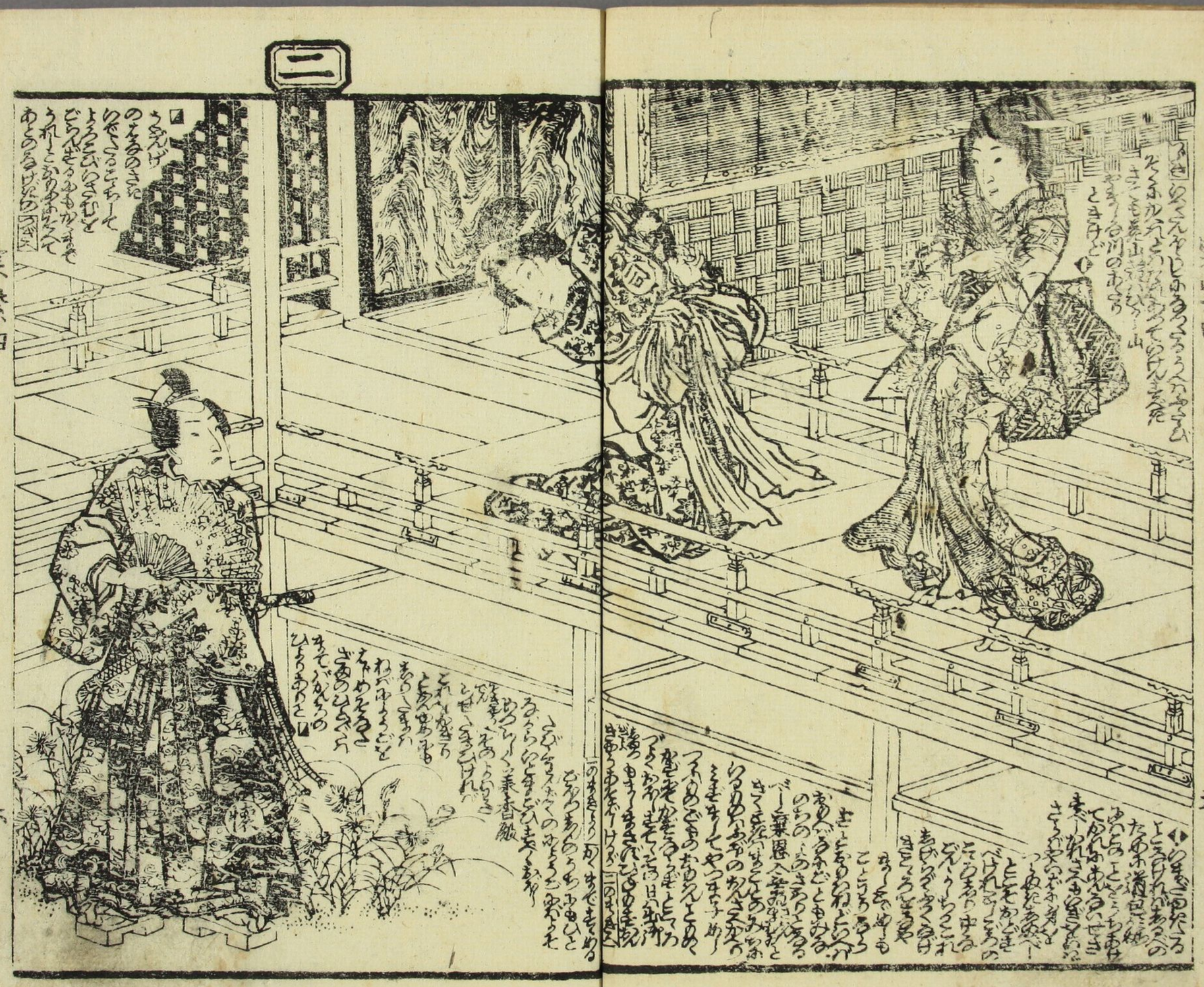


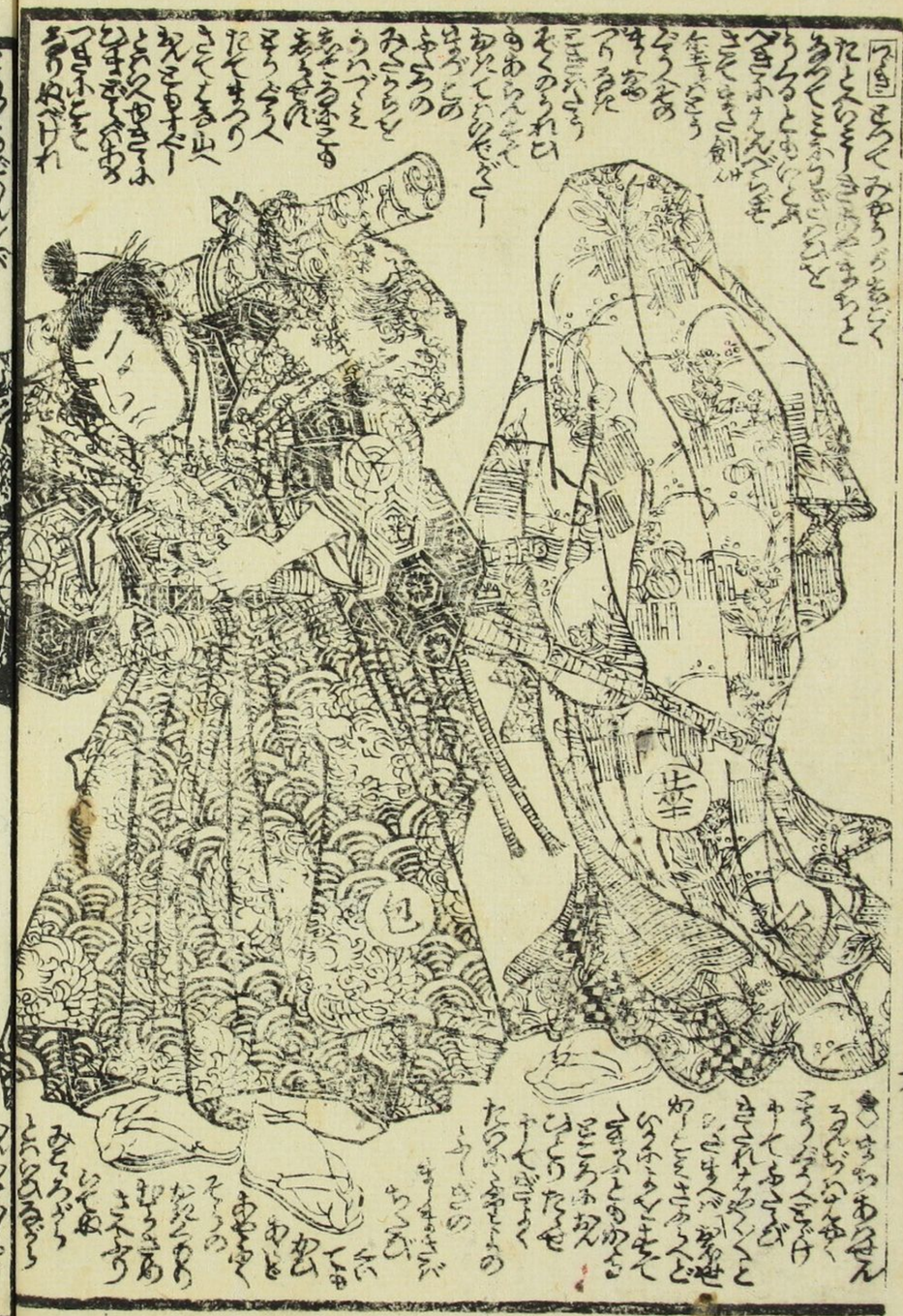
癸丑新刊

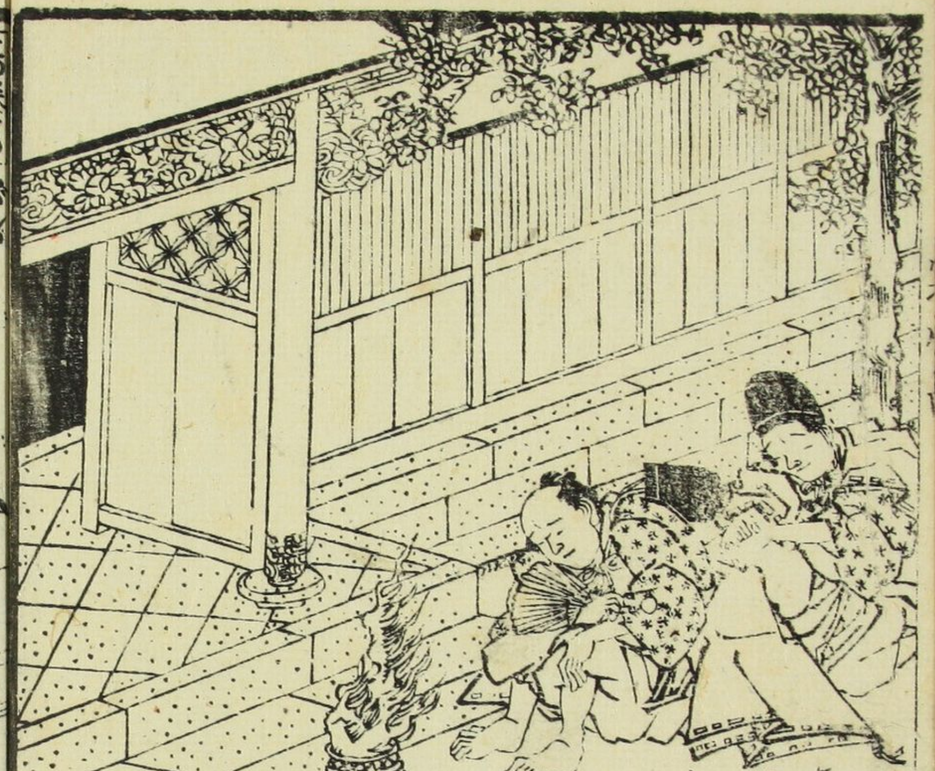
実紫四
摂津守
源頼光
葛城山魔女
土蜘

和泉守藤原保昌
袴垂保輔
実説四

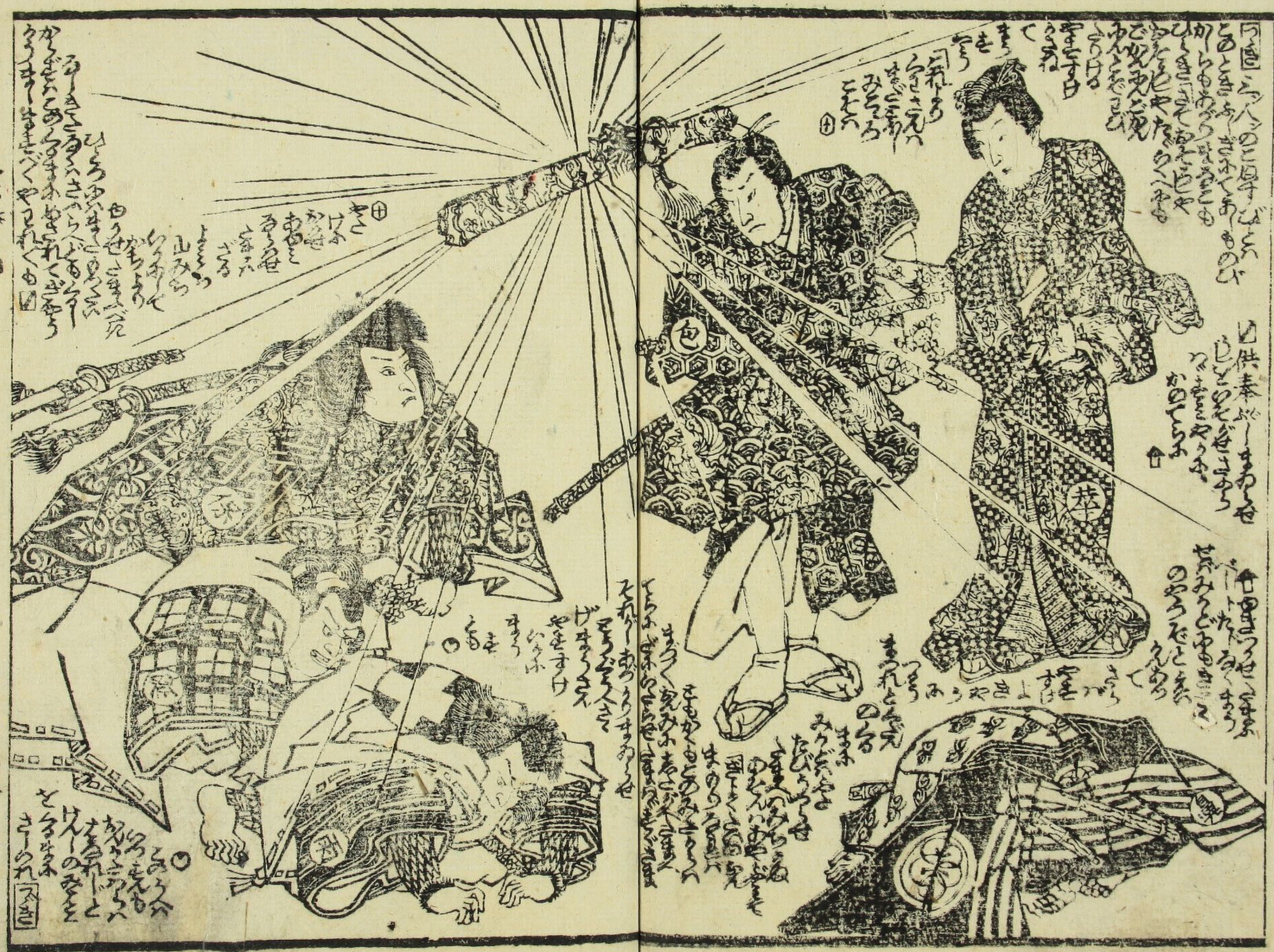
市原野
葉童麻呂



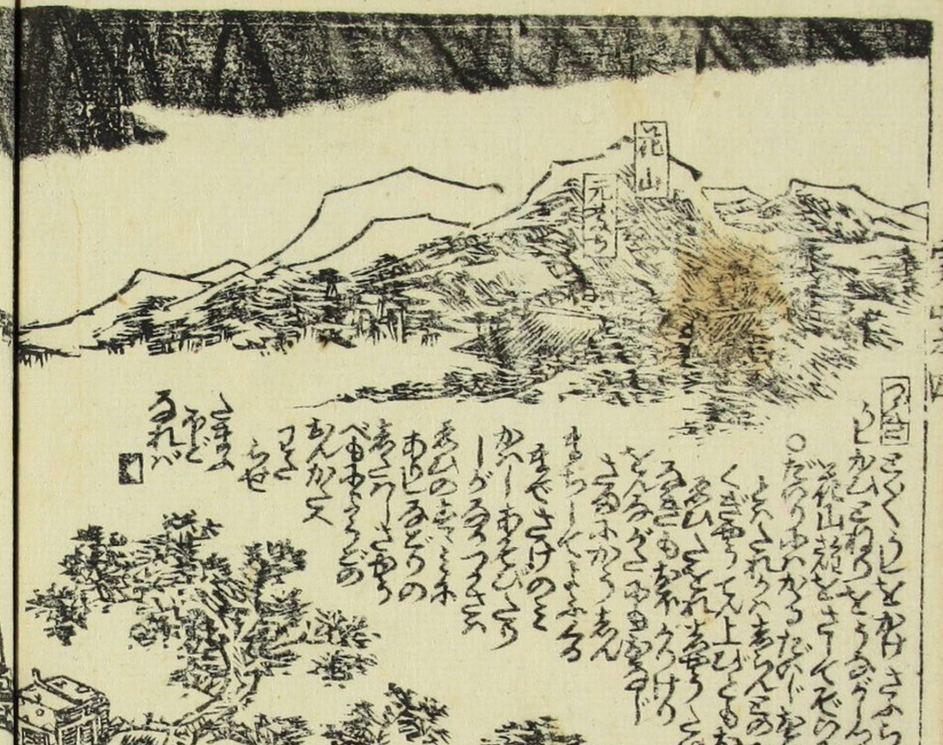




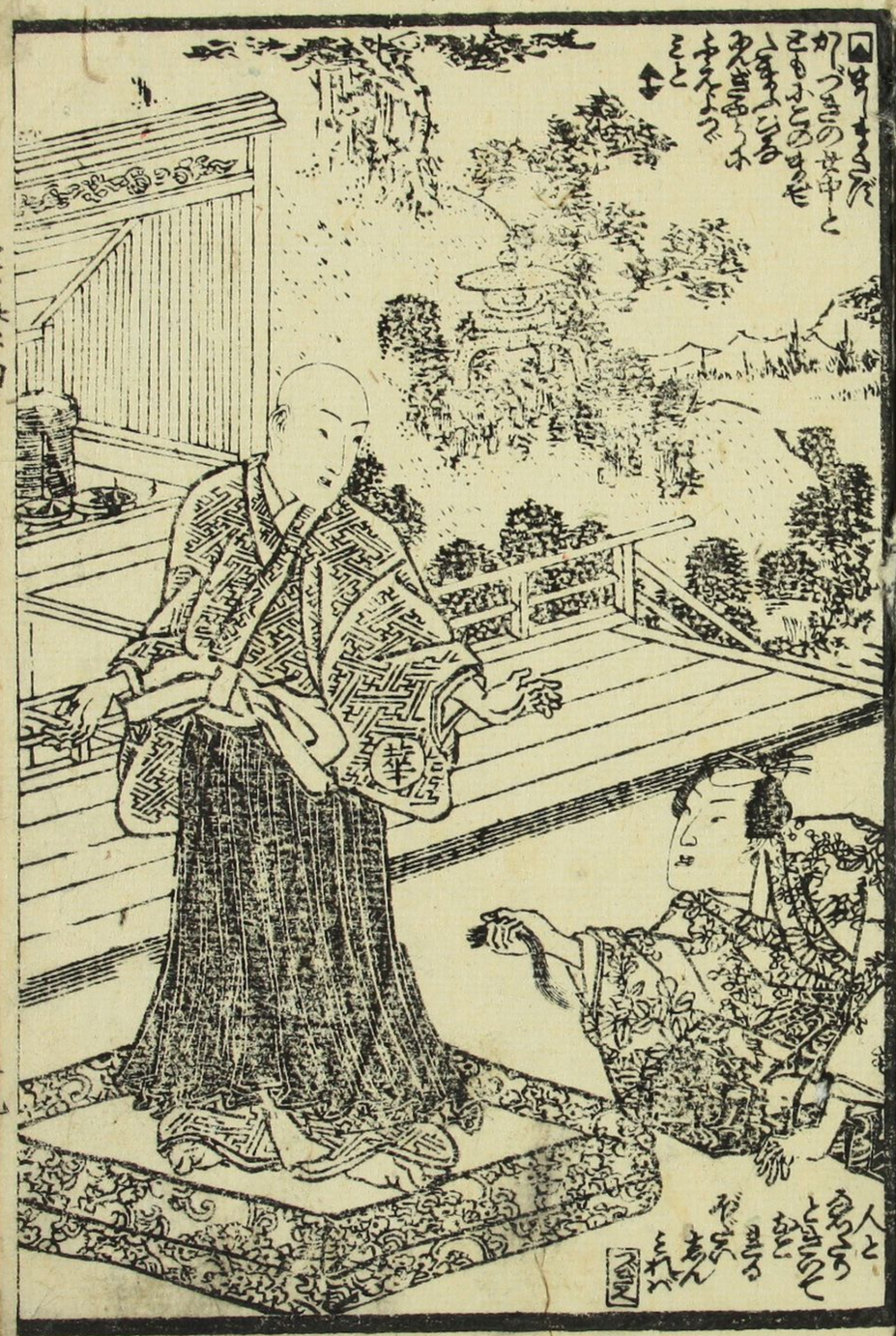
仙果作
國貞画



三のまきとり



四のまきえ



千歳舎 一九作
消誓道中膝栗毛

柳水亭種清作
不思議塚小説櫻

同
風俗淺間ヶ嶽

關太郎鈴ヶ譚
五篇大尾

柳水亭蘭水作
豊時田秋漣新雁
二篇大尾

柳水亭種清作
猛田姉妹新白石
同

出版人 浅草区鳥越座四丁目三番地 山中喜太郎

曲亭馬琴作
新編金瓶梅全輯
十篇大尾

為永春水作
黄金水大盡盃

同
女郎花五色石臺
十篇大尾

柳亭種員作
琴聲義人録

同
小女郎蜘怨亭環
三篇大尾

笠亭仙果作
根源實紫

柳下亭種員作
兒雷也豪傑譚

柳煙亭種久作
假名反古
一休草紙

心典之内

林惠洪